

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 13 日

事務事業名		道路付属物点検・修繕事業(標識、看板、情報提供装置)				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050302000376
						単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系		政策体系上の位置付け						建設課	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備						課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	
施策名		03 道路網の整備						担当者名	
手段名		02 ②市道の危険箇所の整備						建設グループ	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (平成25年度~)			
会計		道路橋梁総務事業				→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
款									
項									
目									
事業									
細									
01									
08									
02									
01									
01									
00									
法令根拠		道路法							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
全国的に道路付属物は、高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化が進行していくとともに、点検未実施で劣化や損傷の状況が把握されていない物が数多くある。 道路付属物の崩落事故等による第三者被害の防止や、道路利用者が安全に既存の道路を利用できる事を目的とし、市内の道路付属物の点検と、その結果に基づいて修繕計画の策定及び修繕工事を実施する。	市内の標識、照明施設、情報提供装置を把握し、点検・修繕計画策定・修繕・管理を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
道路付属物の点検 道路付属物の修繕計画策定 道路付属物の修繕工事 補助金の申請	点検数	箇所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	工事数	箇所	4.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
道路付属物 (道路照明・標識・情報提供装置)	標識数	箇所	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
	道路照明数	箇所	52.00	52.00	52.00	52.00	52.00
	情報提供装置数	箇所	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
道路付属物を適切に維持管理することによって、道路の健全性を確保する。	道路付属物関係苦情件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	道路付属物関係事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		30年度	01年度	02年度	期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	122	68	100
	事業費計(A)	千円	122	68	100	100
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

		01年度事業費 実績(千円)		02年度事業費 予算(千円)	
事業費の内訳	11 需用費	68		11 需用費	100
		合計	68		合計

事務事業名	道路付属物点検・修繕事業(標識、看板、情報提供装置)	事務事業No.	50302000376	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 管理する標識、照明施設、情報提供装置は、今後急速に老朽化することが予想される。良好な管理の下に未永く利用していくためには、点検などにより現状を正確に把握し、点検データを基にした予防的な修繕によって、道路ネットワークの安全性・信頼性を向上させる。 平成26年度に市内の一級市道の道路付属物(標識、照明施設、情報提供装置)を、点検により現状を把握した。今後、その結果に基づき必要な個所の修繕を計画的に実施していく。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 国土交通省が示す各基準やマニュアル等が作成されており、日常的な維持管理の中で道路ストックの状態を把握する必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 良好な管理の下に未永く利用するために、安全かつ円滑な交通の確保ができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 管理者である市が行うのは妥当である。また、標識、照明施設、情報提供装置の変化についての情報も管理者が把握するなど の点からも市が行うべきである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国土交通省が示す各基準やマニュアル等が作成されており、国土交通省において支援する制度を利用する為、最適手段である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 道路ストック(標識、照明施設、情報提供装置)の維持・修繕が困難となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 橋梁長寿命化修繕計画策定に基づく橋梁修繕事業もあるが、交付金の計画が異なっている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 道路ストック総点検で得られた結果に基づき、「予防保全」「コスト縮減」等の観点を踏まえ、修繕を計画的に進めていくため、削減余地がない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 成果は、市道を通るすべての住民が対象となっているため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成26年度に点検を行い、異常個所の把握ができていますので、今後修繕の工事を計画的に実施する。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>